

市民ファーストであったのか

高島市の現実をどう捉えているか



廣本 昌久 議員

答

着実に一体感が醸成されていると思います。

問

市長の政策集に照らして目標を達成した事業と成果を伺う。

答 政策部長

「5つの未来政策」について、「医療・福祉・介護」分野では、子どもの医療費の完全無料化を、「産業・観光振興」分野では、企業誘致に向けた取り組みを進め、「防災・環境」分野では、河川改修の促進を滋賀県へ要望し鴨川の全面改修に取り組んでいただきました。また、「教育・文化・スポーツ・子育て・女性」分野では、きめ細かな教育の充実に努め、「一体感のあるまちづくり」分野では、まちづくり推進会議を立ち上げ、地域課題の解決策等を議論いただいています。

問

「高島はひとつ」に程遠い現実をどう捉え、どのような展望を考えておられるか。また、少子化対策の取り組みについて伺う。

答 政策部長

総合計画策定審議会を始め、各行政分野に参画いただいている市民の方から、オール高島として全市の視点で将来を見据えた意見を頂いており、着実に一体感が醸成されていると考えています。

「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」との基本目標のもと、出生数を5年間で1500人を維持するため子育て支援施策に取り組んでいます。

問

環境センターの後継処理施設に関する考えを伺う。

答 副市長

広域化の実現に向け対象となる自治体との協議等に動いておりましたが、実現は難しく、別の方策について環境部と調査、研究をしています。



問

市の職員には、心病による休職者がいると聞いているが、現状と原因について伺う。

答 総務部長

日常生活や健康、あるいは仕事の困難性など様々な事柄が起因していると認識しています。安全衛生管理体制を整え、健康保持増進に努めています。

